

授乳室における空間構成の実態把握と課題の整理

正会員 ○川野江里子*
同 任 智顯**
同 仲 綾子***
同 小林 美紀****
同 添田 昌志*****

授乳室の空間構成に関する研究 その1

授乳室 パーソナルスペース 動作寸法
乳幼児 オムツ交換台 赤ちゃん休憩室

1. 研究の背景と目的

近年、乳幼児を連れて外出する際に授乳やオムツ替えなどが行えるスペース（以下、授乳室と呼ぶ）の整備が進んでいる。商業施設では授乳室の設置が一般的となっており、地方自治体も公共施設への導入を進めるとともに、独自の認証制度を設けるなどし、普及や設置場所の広報にも力を入れている^{注)}。

このように急速に普及している授乳室ではあるが、その実態は様々であり、現時点では明確な設計指針もないため、必ずしも利用者にとって快適に使いやすくなっているとは言えない事例も見受けられる。特に授乳はプライバシーに配慮されるべき行為であり、利用者（親や子）に対する心理的側面に配慮した空間のあり方を示す必要があると考える。最近では、授乳室に関する研究も散見され^{文1, 2)}、ベビーカーごと室内に入れる必要性などが指摘されてはいるものの、利用者が快適に利用するための設計指針を示すまでには至っていない。

本報は、快適に利用できる授乳室の設計指針を示すための端緒として、現地調査により授乳室の機能やオムツ交換台の配置等の実態を把握し、今後の研究を進める上で建築計画上の課題を明確化することを目的としている。

2. 研究の方法

首都圏内において授乳室を調査し、空間構成や家具の配置、設置されている設備について把握した。調査対象は設置されている建物の種別（業種）や部屋の面積に着目して選定した。

3. 授乳室で可能な行為

調査した 44 ヶ所の授乳室について、設置されている部屋（コーナー）、設備、家具などに着目し、そこで可能な行為を整理した。その結果、授乳室で想定されている行

為は幅広く、授乳だけではなく、オムツ交換や調乳、離乳食の温めなども行えるようになっている（表1）。特に商業施設では様々な機能が複合する傾向にあり、名称も単に授乳室ではなく、ベビー休憩室などと呼ばれるもの

表1 調査対象授乳室における可能な行為の分類

行為	授乳する	調乳する	替える	温める	食べさせる	はかる	待合わせる	遊ばせる	相談する	眺める	必要設備	
											面積	面積
	母乳	ミルク	オムツ	電子レンジ	子供用食卓椅子	乳児用体重計	椅子・ソファ	おもちゃ等	母乳・育児相談室	窓		
百貨店	A-1	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	
	A-2	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	
	A-3	×	○	×	×	×	△	×	×	×	○	
	A-4	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	
	A-5	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	
	A-6	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	
ショッピングモール・複合商業施設	B-1	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
	B-2	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	
	B-3	○	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	B-4	×	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	B-5	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	B-6	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
	B-7	○	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	B-8	○	○	○	×	×	△	×	×	×	×	
	B-9	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
	B-10	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	B-11	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	B-12	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
スリパル	C-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	C-2	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	
	C-3	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	
	C-4	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	
	C-5	○	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	C-6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	C-8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
美術館・博物館・博物館	D-1	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
	D-2	×	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	D-3	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	
	D-4	×	○	×	×	×	△	×	×	×	○	
	D-5	○	○	×	×	×	△	×	×	×	×	
	D-6	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	D-7	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	
公共施設・病院	E-1	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
	E-2	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
	E-3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	E-4	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	E-5	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	E-6	×	△	×	○	×	△	×	×	×	○	
	E-7	○	△	×	○	×	○	×	×	×	×	
	E-8	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	

凡例
・面積
大 40m2 以上
中 10~40m2
小 10m2 未満
・授乳する
個 1人用個室
共 複数人共有
・その他の行為
○ 想定された
場所/設備がある
△ 想定された
場所/設備はない
ができない
× できない

表2 調査対象授乳室の名称

	授乳室	ベビー休憩室	赤ちゃん休憩室	ベビールーム	ベビーコーナー	その他	計
百貨店		6					6
ショッピングモール・複合商業施設	6		2	4	3	1	17
店舗・スーパー	1	3				2	6
美術館・博物館・遊園施設	6					1	7
公共・旅客・病院施設	6	1				1	8
計	19	10	2	4	3	5	44

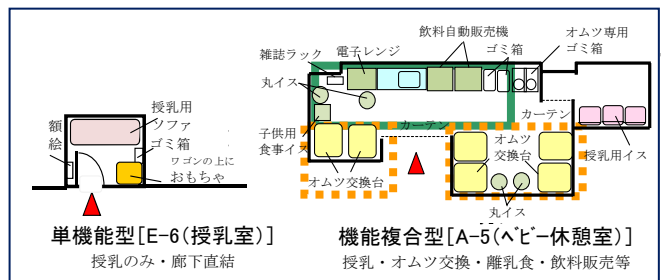


図1 授乳室の空間構成の例

が多い(表2)。これは乳幼児連れでの外出時に必要となる行為を1ヶ所で行えるように配慮した結果と思われる。しかし、具体的な空間構成を見ると(図1)、離乳食を食べさせる事を想定した空間に隣接してオムツ交換台が置かれている等ゾーニングが不明瞭で、複数で同時利用する際には、不快に感じるであろう状況も見受けられる。また、家族で外出した際、授乳中に父親が待ってられる場所の設置など、直接、乳幼児に関わるわけではない空間への配慮も必要と考えられる。

4. 授乳空間の壁面構成と家具配置

授乳のための空間については他の機能と明確に区別して設けられていることが多いが、その形態は1人個室のものから複数で使うものまで幅広い。そこで、それらをプライバシー度の観点から検証するため、入口や壁の構成(ドア/カーテン)および、内部の椅子などの配置に着目して分類した。

入口についてはドアのものは少なく、カーテンがほとんどであったが、カーテンで十分なプライバシーが確保できているか検証する必要がある。またドアの場合は使用中であることをロックや施錠により確認できるが、カーテンの場合はその方法が課題となる。

椅子やソファは、複数での利用が想定されている場合には並列や対面で配置されているが、並列の場合は荷物を置く場所にも考慮した十分な動作寸法やパーソナルスペースが確保されていること、対面・コの字の場合は他者や自分の視線の交錯に対する工夫が必要と思われる。

5. オムツ交換台の配置

授乳室に合わせて設置されることが多い「オムツ交換台」の配置について表4に整理した。最も多いのは交換台が隙間なく並列されているものであり、この場合、一般的な交換台の幅が約600mmであることから、大人が並んで同時に交換する十分な動作寸法は確保されていないことが分かった(図2)。比較的室面積が大きい授乳室においてもこのような配置例が多い。オムツの必要な乳幼児の場合、ベビーカーでの利用も多く、予備の着替え等の大きな荷物を抱えながらオムツ替えるといった利用実態に即した適切な配置計画を提示する必要がある。

6. まとめ

以上、本報では、現時点における授乳室の実態を調査し、より快適に利用するための課題点について抽出した。今後は、動作寸法やパーソナルスペース等を考慮した、適切な寸法やゾーニングについて検証していく予定である。

表3 授乳室の壁面と家具配置

		← 高 プライバシー度 低 →			
プライバシー度 ↑	高	入口・壁面の構成			
		入口	カーテン		
入口以外	壁	ドア	3面		1面
椅子・ソファの配置	高	カーテン	-		2面
1台	単独	D-1	A-4 A-6 B-5 B-6 B-7 B-9 B-11 C-5 D-2	A-1 A-2 B-1 B-4 B-16 D-2	
2台以上	並列	E-8	A-5 C-3 E-1	A-1 B-9 C-2	A-1 C-2
	対面・コの字	D-5	A-3 B-3 C-1		

表4 オムツ交換台の配置

面	面積	オムツ交換台の配置					その他	なし
		単独	一列	L字型	その他	なし		
		間隔なし	間隔あり	間隔なし	間隔あり	間隔あり		
大 40m ² -	-	2	1	3	-	-	-	-
中 10-40m ²	1	11	4	3	2	1	1	-
小 10m ²	7	2	-	1	-	-	-	5
計	8	15	5	7	2	1	1	5

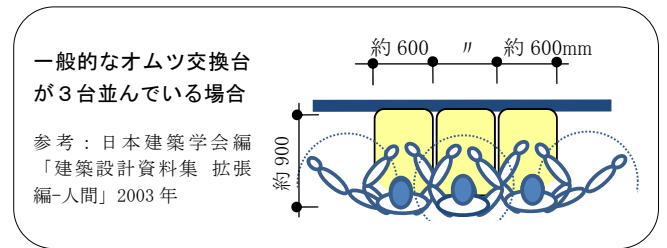


図2 オムツ交換台における動作寸法のケーススタディ

注：一例として、東京都では「赤ちゃんふらっと」事業として平成22年度までに600か所を整備することを目標としている。この事業は一定の基準に適合する授乳室を都が独自に認証するものであり、その基準としては、ベビーベッドや給湯・手洗い設備などの設備を設けることなどが挙げられている。

参考文献：

- 1) 石田さおり, 龍有二:北九州市における授乳室の現状と利用評価に関する研究 日本建築学会研究報告. 九州支部. 2, 環境系 (47), 21-24, 2008
- 2) 村上 良知, 守本 奈緒子民間施設における子育てバリアフリーの取組みに関する調査研究(建築計画), 日本建築学会研究報告. 九州支部. 3, 計画系 (47), 13-16, 2008

* 人間環境デザイン研究所 修士(工学)
 ** 人間環境デザイン研究所 修士(環境学)
 *** 仲建築研究所 博士(工学)
 **** 東京工業大学 特別研究員 博士(工学)
 ***** 人間環境デザイン研究所 博士(工学)

* LLP Human Environment Design Laboratory, M. Eng
 ** LLP Human Environment Design Laboratory, M. Env
 *** Nakatan atelier, Dr. Eng
 **** Research Fellow, Tokyo Institute of Technology, Dr. Eng
 ***** LLP Human Environment Design Laboratory, Dr. Eng